

深夜勤で労働者が殺された！

労働者の闘いで郵政民営化をぶっ飛ばそう

ただちに深夜勤を廃止しろ

2月8日から導入された深夜勤務の結果、東京中央郵便局で3月3日ついに現職の労働者が死亡しました。当局は、いつも行う訃報を他局には、一切公表せず、事態の深刻さをかくすために奔走したのです。当該局では、さすがにそれもできず周知で流しましたが、訃報の周知簿にはその記録は一切残されておらず、訃報周知簿から抹殺することで、まさに深夜勤の導入がこの事態をひきおこしていたことを自ら証明しているのです。

彼は、連続2回の深夜勤を2度行い、3度目の深夜勤の直前に心臓発作を起こし帰らぬ人となりました。つらそうにしているのを見た家族、兄弟が心配し「大丈夫か」と話していた矢先の出来事です。彼は、

4年前に出勤のため駅に行こうとして狭心症の発作を起こしています。その時は比較的に軽かったため近くの病院でニトログリセリンの貼り薬を処方してもらい、その後は、それを胸に貼って仕事をしていました。

同僚の話では、ときどき局でも発作をおこしていた

3・20日比谷にひるがえる全通旗

イラク侵略戦争開戦一周年の3月20日、全世界一千万人の決起と連帯し、自衛隊の撤兵と戦争の即時停止を求めて日比谷公園に6万人の労働者市民が集まった。多くの全通労働者が全通旗を林立させてデモに出発した。次は5・21明治公園だ。

が「これをつけると治るんだ」と言いながら入院もせずにつらい仕事をこなしていたのです。同僚の「大学病院のいい医者があるから掛からないか」との声にも、持ち前のガッツで長距離通勤と深夜勤務を勤めていたのです。

誰にでもハッキリものを言う彼は、同僚や後輩からは信頼され、慕われていましたが、当局には煙たがられ、そのために、局内各課を5回もたらい回しにされました。通勤時間が2時間以上もかかることを百も承知で、夜勤勤務がほとんどを占める現在の課に配転されたのです。通勤事情のため夜勤勤務ができない彼は、日勤勤務に勤務変更する代わりに泊まり勤務（新夜勤）をやっていました。

1回の勤務で2日分の新夜勤（まん中2時間半の解放時間をはさんで16時～翌日の8時半まで16時間以上の拘束）とも違って、深夜勤の明けたその日の夜にまた出勤する連続深夜勤は、健康な人でも

「眠れない」「夜と昼が逆転して体調がおかしい」と訴える殺人的勤務です。東京の各局は、遠距離通勤がほとんどで、片道1時間半は普通で、2時間からそれ以上の方が、かなりの人数がいる地域です。中郵は深夜勤連続2回だが、一般局では、3回、4回の連続深夜勤が、かなりやられています。その辛さは言葉では言い表せないくらいの殺人的な現状です。

それだけではない。JPS方式が定着していくところから、連続5回にグレードアップすると言っているのです。もはや次の犠牲者が何時でもおかしくない状態です。

その責任は当局とグルになった全通本部にある

60歳の定年まで生きて勤められるかという疑問がたえず頭のなかをよぎる。このような勤務を導入した当局は絶対に許せない。それと同時に、組合民主主義を完全に無視して、第57回全国大会では深夜勤交渉と到達点で妥結することで中央本部一任を強行し、公社に全面協力した全通中央本部は絶対に許せない。組合員の怒りは耐え難いまでになっています。

郵政公社への移行にともない、全通本部は生田総裁のアクションプランに完全に賛成してしまった。それは、2年間で17000人を削減し、1147億円の人件費と2144億円の物件費を削減するというものです。そこでは非常勤職員の賃金を人件費と呼ばず物件費と呼んでいる。さらに団体交渉を事後対処方式にすることで、事前に組合と交渉しないで施策を施行して、問題があれば対話に応じるとしてしまった。これによって当局の人減らし施策にフリーハンドを与えてしまっている。この全通本部の後押しでこの間、公社は、勤務形態の見直しと賃金体系の見直しの攻撃を恥も外聞もなくかけてきているのです。

非常勤職員への矛盾の集中

とりわけて、非常勤職員に対する締め付けが強まっています。非常勤職員の比率が本務者を上回り、仕事の非常勤職員への依存度が高まる中で、深夜勤導入と同時に日勤・中勤の非常勤職員を夜勤に移行させています。これまで、17時～21時まで夜間手当として1Hあたり20/100の割り増し賃金が支払われていたが、第119回の中央委員会で公社の意を受けてその全廃に同意してしまったのです。それも非常勤の時間賃金を成果型にするということを隠れ蓑にしてです。

このことによって、非常勤一人あたり月に約17000円の減収になっています。この給与体系の変更を所属長が非常勤を呼び出して「いやなら辞めてもかまわないのだが」と前置きして説明している。これには、「これまで一生懸命働いてきたのにあの言い方はない」と非常勤職員は怒りをぶちまけています。深夜勤の導入をもって、職場の中はやり場のない怒りで、とりわけ全通本部に対する怒りで、あふれています。

これまで組合員をだまし続けてきた本部は、いまやまったく信頼されていない。いよいよ真に闘うものだけが生活と労働条件を守る時代が来たのです。旭川全国大会を全通の復活の日にしよう。4・28被免職者と連帯し4・28反処分闘争を闘おう。

5・21明治公園に3・20日比谷をうわまわる全通労働者の総決起を実現しよう。

占領やめ自衛隊撤退を

イラク・ファルージャでの大虐殺を絶対に許すな！ 拘束事件の原因はイラク戦争・占領・大虐殺にある

サラヤ・ムジャヒディンの声明文(要)

われわれは日本政府首脳の言説やごう慢さを認めないが、日本の政治家たちが自国民の感情や意思を代表していないと確信している。

われわれは、核兵器を用いて広島、長崎で虐殺を行ってあなた方(日本人)を傷つけた米國が、国際的に禁止された爆弾を使用したより被害の大きい攻撃的な方法で、ファルージャで同様の行為に及んでいることを、日本の人々に気付かせた。

彼ら日本人(3人の人質)が、イラクの人々に敵対する占領国には毒されていないことや、家族の苦悩や今回の出来事に対する日本の人々の姿勢を考慮し、われわれは以下のことを決めた。

- 1、ムスリム聖職者連盟の要請に直ちに応え3人の日本人を24時間以内に解放する。
- 2、米國の抑圧に今も苦しむ親愛なる日本人々々に対し、日本政府に最大限の圧力を掛け、軍隊をイラクから撤退させるよう求める。なぜなら、彼らの(イラク) 駐留は違法であり、米國による占領継続に貢献することになるからだ。(2004年4月10日)



死体を運ぶファルージャの人々。この場所は戦闘が始まる前はサッカー場だったが、今は共同墓地になっている。(4月11日、AP)

4月15日、拘束されていた3人が解放されました(17日には残る2名も)。政府が活躍したからではありません。労働者・市民のたたかいが3人の命を救ったのです。15万人以上から寄せられた署名、自衛隊撤兵の決断を求めて連日首相官邸前に駆けつけた多くの人々の行動など、各地で支援運動が自発的に取り組まれました。そうしたたたかいの様子がイラクに届いたからです。ところが小泉首相と政府は、3人の家族に対して冷淡な対応をとり続け、米軍に「救出作戦」を要請するなど人命を無視するような態度をとつてきました。許すことは出来ません。

しかもあるうことが、解放された3人と家族に対する誹謗中傷やバッシングが始まっています。「自己責任がない」「迷惑をかけたことを謝罪すべきだ」等々、こんな暴論が横行することに激しい怒りをおぼえます。

イラク民衆の血叫びと糾弾

日本人3人を含む外国人の相次ぐ拘束という事件は、米軍による、イラク・ファルージャでのすさまじい無差別殺りくが強行されている中で起こったものです。今、ファルージャでは地域全体が軍事的に封鎖され、米軍・占領軍はモスクを空爆し、民家を攻撃し、子どもや女性や老人たちを皆殺しにしています。今月5日からの軍事作戦で米軍は、600人以上のファルージャ住民を虐殺しています。

昨年3・20開戦以来、米軍の攻撃によるイラク民衆の死者は1万人を超えるといわれています。これを支えているのが自衛隊なのです。

自衛隊撤退・小泉打倒こそ、イラク民衆に連帯する道

この侵略戦争と植民地支配、そしてイラク民衆に対する無差別の大量虐殺に対して、イラク人民の怒りが爆発したので、3・31ファルージャでの米警備会社の元特殊部隊兵士4人への報復含め、今、イラクのほぼ全土で、レジスタンスが一気に燃え広がっています。また、サマーワの自衛隊宿営地に対する迫撃砲による攻撃も始まっています。3人の拘束は、このレジスタンスの一環だったので、

「サラヤ・ムジャヒディン」が声明(冒頭に掲載)の中で訴えている「自衛隊の撤退」は本当に必死の訴えなのです。ただちに小泉首相は自衛隊を撤退させ、米軍のイラク撤退を要求すべきです。

みなさん。イラク民衆と連帯する道は、自衛隊を撤退させることです。そして、不正義のイラク侵略戦争に参戦し、イラク民衆の虐殺に加担し、国家のためには自国民の命を犠牲にしてはばからない小泉政権を、スペインの労働者が



日比谷野音に4000人

陸・海・空・港湾労組20団体などが「自衛隊のイラク派遣NO! STOP!有事法制 守ろう!平和といのち 4・9集会」を開催。イラクからの自衛隊の撤退を求める緊急アピールを採択した(4月9日夜、日比谷野音)

4・28不当処分25ヶ年糾弾!

反処分総決起集会

日時: 4月28日(水)午後6時半~

場所: 東京南部労政会館(JR大崎駅南口より3分)

主催: 全通4・28連絡会

とき 5月21日(金)午後6時30分~
イラク派兵NO! STOP!有事法制
守ろう!平和といのち 5・21大集会

ところ 明治公園

主催 陸海空港湾労組20団体、宗教者・キリスト者
ネット、市民緊急行動など

全国労働組合交流センター 全通労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10-5F

TEL & FAX 03-3845-7461 Eメール centergo@nifty.com

2004年4月